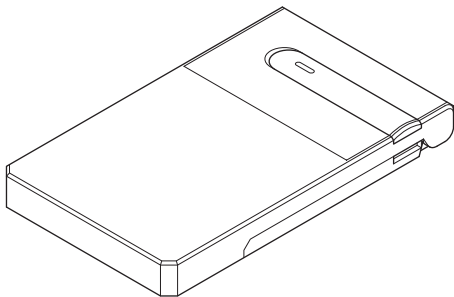


トランスフォーム裸族

CRTF25U3 取扱説明書



CENTURY

【はじめに】

このたびはCRTF25U3をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

- ・ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠ 警告

■煙が出る、異臭がする、異音ができる

煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない

台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

■設置場所に関する注意事項

- 下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
 - ・台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
 - ・浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しびきのかかるところ
 - ・常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
 - ・火花があたるところや、高温の熱源、炎が近いところ
 - ・有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
 - ・金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
 - ・機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
 - ・食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
 - ・直射日光のあたるところ

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。

■静電気を与えないでください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■もくじ

■はじめに	i
■安全上のご注意	i
■制限事項	1
■ご使用前に	1
■製品仕様	2
■製品内容	2
■各部の名称	2
■対応HDD/SSD	3
■対応機種	3
■対応OS	4
■HDD/SSDの組み込み方法	5
■HDD/SDDクレードルとしての使用方法	9
■PCとの接続方法	11
■Windowsでの使用方法	13
・ Windows 7、Windows Vistaの場合	13
・ Windows XPの場合	19
■ハードウェアの取り外しについて	24
■Macでの使用方法	25
■東芝製液晶テレビREGZA（レグザ）での使用について	27
■トラブルシューティング	29
■サポートのご案内	31

【制限事項】

- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品は2.5インチSATA（シリアルATA）HDD/SSD接続専用です。PATA（パラレルATA）HDD/SSDは接続できません。

【ご使用の前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・MacはApple Inc.の登録商標です。
- ・WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。
- ・レグザおよびREGZAは株式会社東芝の商標です。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。



注意

静電気や水分は機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用い、水気を避けて故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

■型番：CRTF25U3

■商品名：トランスフォーム裸族

■インターフェイス

【デバイス側】：[SATA]SATA I/II/1.5Gbps/3.0Gbps

【ホスト側】：USB3.0

■USBコネクタ形状：USB3.0 Micro Bタイプ

■重量：約70g（ドライブ含まず）

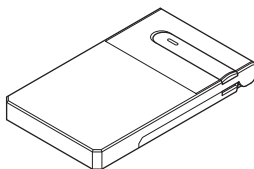
■寸法：幅80mm×高さ14mm×奥行き135mm（突起部除く）

■温度・湿度：温度5～35℃・湿度20～80%（結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）

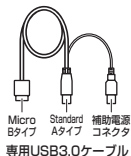
※本製品にHDD/SSDは含まれておりません。

【製品内容】

- ・ CRTF25U3本体
- ・ 専用USB3.0ケーブル
- ・ 取扱説明書/保証書

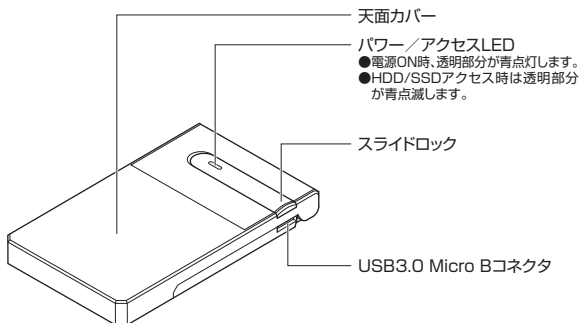


CRTF25U3 本体



取扱説明書/保証書

【各部の名称】



【対応HDD/SSD】

■HDD

- ・9.5mm厚の2.5インチのSATA HDD (SATA I / II / 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps)

※本製品はSATA HDD専用です。PATA (IDE) HDDは接続できません。

※SAS (Serial Attached SCSI) HDDは使用できません。

※3.3V駆動の2.5インチHDDは動作しません。

■SSD

- ・9.5mm厚のMLCタイプの2.5インチSATA SSD

※1.8インチ、ZIFコネクタ、3.3V駆動および特殊形状 (ASUS Eee PCの内蔵SSD等) のSSDは接続できません。

※本製品はSATA 6GbpsのSATA SSDが接続可能ですが、インターフェイス側がSATA 3.0Gbpsのため、転送速度はSATA3Gbpsが上限となります。

※5V駆動のものに限ります。

【対応機種】

<Windows>

- ・USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB3.0モード動作時)
- ・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB2.0モード動作時)
- ・CPUクロック 2GHz / メインメモリ 1GB 以上

※intelチップセット搭載モデル推奨

※sis7000/7001/7002.PCtoUSB Host Controller搭載PCは、USB Host Controllerの問題で正常に動作しない可能性があります。

<Mac>

- ・USB2.0インターフェイスポートを搭載した、MacPro、iMac、MacBook、MacBookPro

※PowerPC 搭載のMacintoshは動作保証外になります。

※USB2.0での動作になります。

<東芝REGZA>

- ・REGZA 9000シリーズ以降

※録画機能を搭載していないモデルではご使用できません。

【対応OS】

<Windows>

- ・ Windows 7 (32bit/64bit)
- ・ Windows Vista (32bit/64bit)
- ・ Windows XP (32bit)

※Windows Updateにて最新の状態にしてご使用ください。

※Windows95/Windows98/Windows98SE/Windows3.x/WindowsNT/WindowsMe/Windows2000では動作しません。

<Mac>

- ・ Mac OS 10.5.8、10.6.6 (2011年3月現在)

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

HDDの取り扱いについて

HDDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDDの着脱保証回数が設定されております。

この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

本製品からのOS起動に関して

本製品はOS起動には対応していません。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDや内蔵用SSDをケースに入れず、むき出し＝「裸」のまま手軽に使用することを想定して作られています。しかし、内蔵用HDDや内蔵用SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。

特に静電気やほこりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDD/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

デリケートな
裸族を
守るのう!



【HDD/SSDの組み込み方法】

■HDD/SSD接続の前に



警告

・本製品とPCを接続した状態でのHDD/SSD取り付けは行わないでください。
PCと接続した状態で作業を行うと、故障の原因となります。

- ・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

■組み込みの前に

- ・HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

※注意

すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えて必ずデータのバックアップを行ってください。

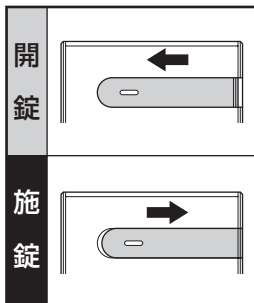
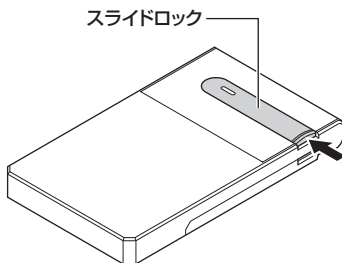
また、本製品はHDDのホットスワップには対応しておりませんので、電源を入れたままのHDDの抜き差しは行わないでください。



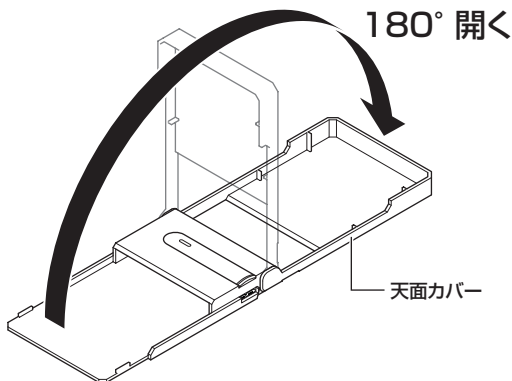
注意

・フレームやHDDコネクタで手を切らないようにご注意ください。

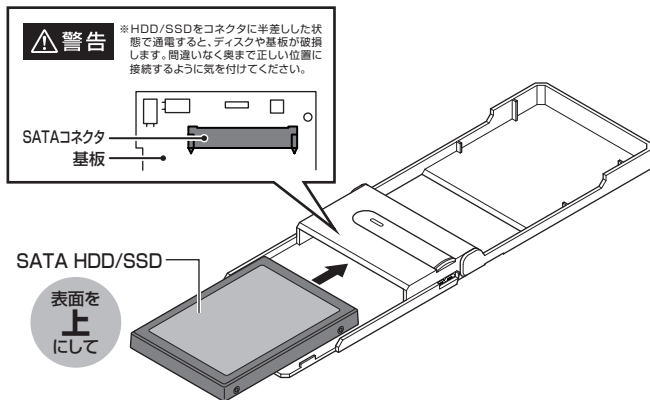
1：天面のスライドロックを開錠方向にスライドさせます。



2：図のように天面カバーを開きます。



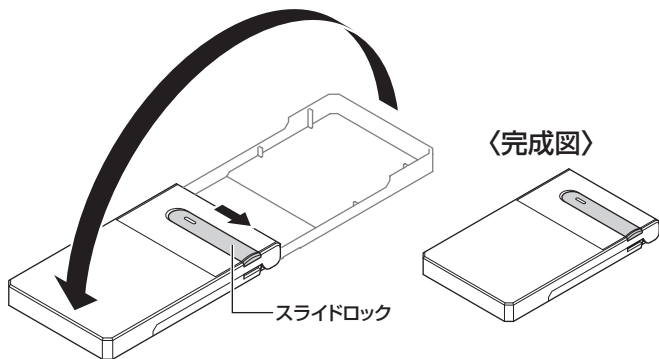
3：HDD/SSDを差し込みます。



※取り付け・取り外しの際は、フレームやコネクタ、基板等で手を切らないようにご注意ください。
また、本製品の構造上、HDD/SSDに擦り傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。

【HDD/SSDの組み込み方法】

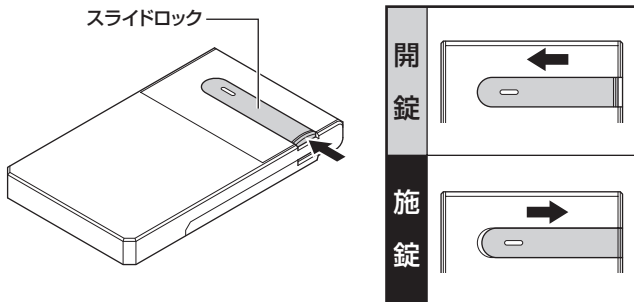
4：天面カバーを閉じ、スライドロックを施錠方向にスライドさせます。



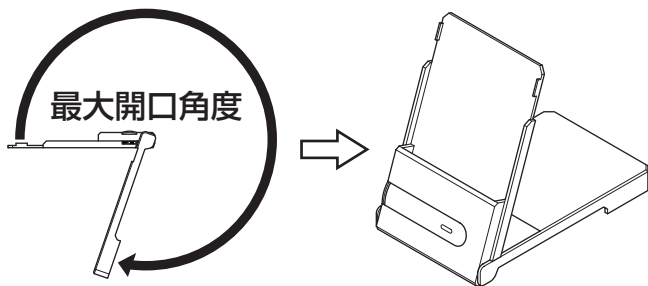
※HDD/SSDを取り外す際は、逆の手順をたどってください。

【HDD/SDDクレードルとしての使用方法】

1：天面カバーのスライドロックを開錠方向にスライドさせます。

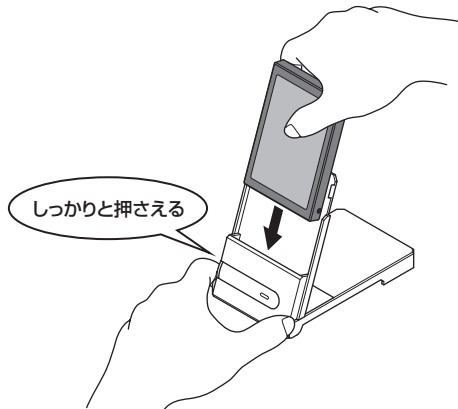


2：図のように天面カバーを開き、天面側を下にして設置します。

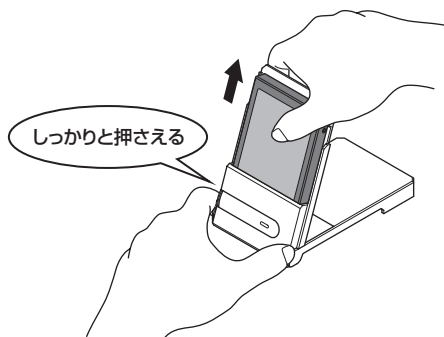


※天面カバーは最大開閉角度より開かないでください。破損の原因となります。

3 : HDD/SSDを取り付ける時は本体の下部をしっかりと押さえ、ゆっくり取り付けます。



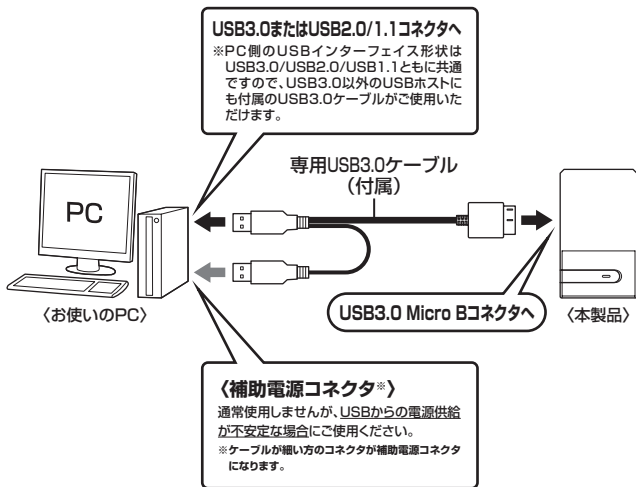
4 : HDD/SSDを取り出す時は本体の下部をしっかりと押さえ、ゆっくり取り出します。



【PCとの接続方法】

本製品とPCを付属の専用USB3.0ケーブルを使用して接続します。

※USB2.0ポートに接続した場合、転送速度は480Mbps（理論値）になります。



【Windowsでの使用方法】

■ドライバのインストール

- 1 : Windowsを起動します。
- 2 : PCに本製品を接続します。
- 3 : PCが自動的にWindows標準のドライバを検索してインストールします。すでにフォーマット済みのHDDを組み込んだ場合は、マイコンピュータにHDDが認識されます。フォーマットされていないHDDを接続した場合は、領域の確保とフォーマットが必要ですので、下記「領域の確保とフォーマット」をご参照ください。

■内蔵したHDDをダイナミックディスクでフォーマットしていた場合

ダイナミックディスクは取り外しのできない内蔵用を前提としたディスクの容量確保形式ですので、本製品のような外付けHDDケースにダイナミックディスクでフォーマットしたHDDを内蔵すると、データの認識ができない等の不具合が生じる場合があります。この場合、HDDのデータを別の場所にバックアップを取り、ベーシックディスク形式でフォーマットしなおしてご利用ください。



ダイナミックディスクかベーシックディスクかを確認するには、P.15「ディスクの管理」画面にて確認できます。

■領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する前提での操作を説明しています。パーティションの分割等の操作については、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

□Windows 7、Windows Vistaの場合

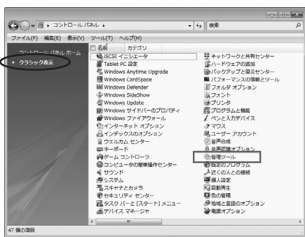
1.



フォーマットをするアプリケーションを起動するために、スタートから



【コントロールパネル】 → 【表示方法：小さいアイコン】 → 【管理ツール】
(Windows 7の場合：左図)



【コントロールパネル】 → 【クラシック表示】 → 【管理ツール】
(Windows Vistaの場合：左図)

の順に開きます。

※コントロールパネルを開いても【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.

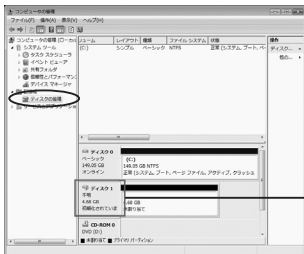


【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※Windows Vistaの場合、【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

[Windowsでの使用方法]

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

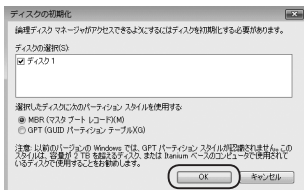
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクが間違いないかを確認して【OK】をクリックします

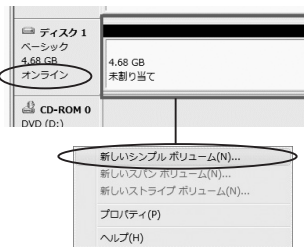
※パーティションスタイルについて
パーティションスタイルに関しては2TB以上の容量を扱う場合以外は、MBR形式を使用することをお勧めします。

GPT形式はWindows XPでは読み書きすることができません。

また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。

GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】になります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

新しいシンプルボリューム(N)...

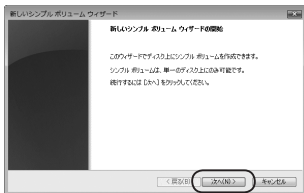
新しいスパンボリューム(N)...

新しいストライプボリューム(N)...

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

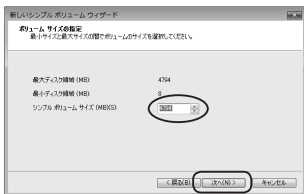
6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



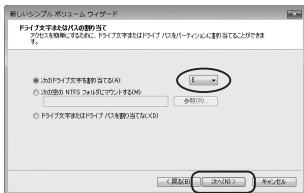
【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB (メガバイト) 単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

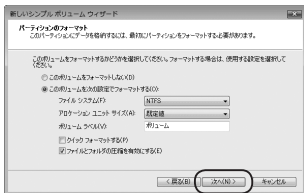
特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

【Windowsでの使用方法】

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

・ファイルシステム

NTFSを選択します。ほかのファイルシステムは使用しないでください。

特別な理由が無い限りNTFS(初期設定値)を使用してください。

※FAT32フォーマットを使用する場合は32GBまでの領域しか作成できません。

・アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、既定値で問題ありません。

・ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

・クイックフォーマット

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからないかわりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

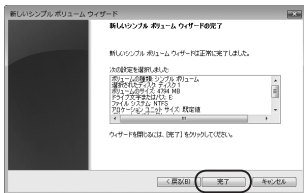
・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

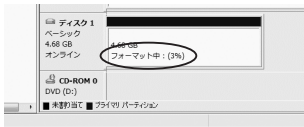
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.



これでフォーマットの作業は完了です。

ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

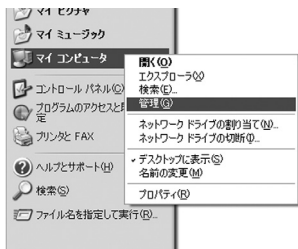
フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

【Windowsでの使用方法】

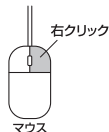
□Windows XPの場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザーでログインして行ってください。

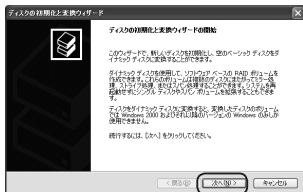
1.



スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。



2.



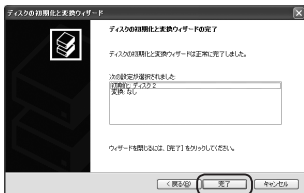
「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

3.



「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

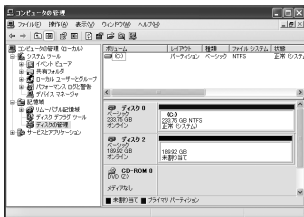
4.



「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

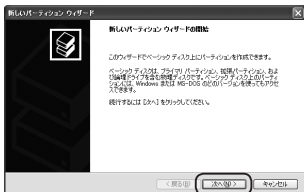
5.



次にパーティションの作成を行います。

「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成(P)...」を選択します。

6.

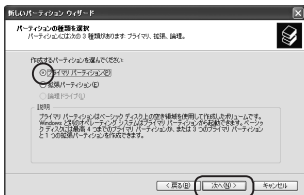


「パーティション作成ウィザード」が表示されます。

「次へ」をクリックします。

【Windowsでの使用方法】

7.



「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。

「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。

※一つのディスク上に5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.



「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」を繰り返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

9.

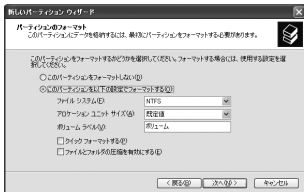


「ドライブ文字またはパスの割り当て」ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字を指定して「次へ」をクリックします。

※「ドライブパスをサポートする空のボリュームにマウントする (M)」はWindows XPの機能で、元々あったHDDの中に、新しいHDDを増設する方法です。詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

- ・使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。

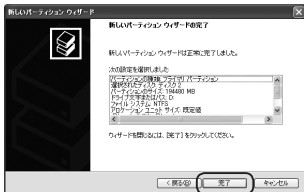
特別な理由がない限りNTFS（初期設定値）を使用してください。

※FAT32フォーマットを使用する場合は32GBまでの領域しか作成できません。

- ・アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
- ・ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
- ・クイックフォーマットする
このチェックボックスを入れておくとフォーマット時にクイックフォーマットを行います。以前フォーマットされていたHDDのみ使用可能です。新規のディスクはクイックフォーマットすることができません。
- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様にファイルの読み書き速度の低下を招くようです。詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリックして閉じます。

12.



フォーマットが開始されます。

「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。

進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。

使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

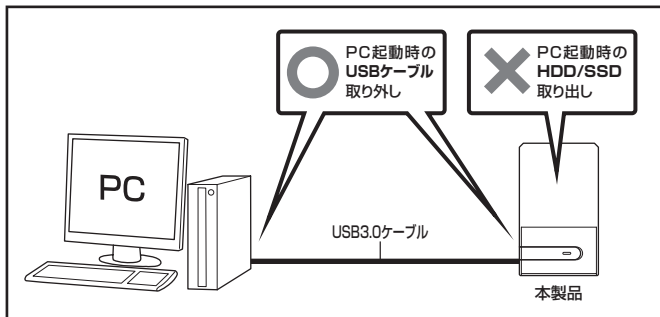


- ・フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- ・フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください
故障の原因となります。

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、PCの電源を切った状態で行ってください。



1：本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。

取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。

デバイス名は以下のように表示されます。

- Windows XP : USB大容量記憶装置デバイス
- Windows Vista : USB大容量記憶装置
- Windows 7 : USB to ATA / ATAPI Bridge

2：取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。

上図にしたがってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。

「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDD/SSDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

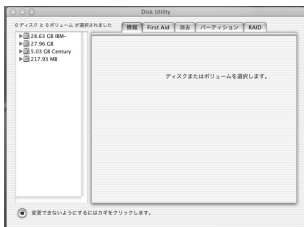
【Macでの使用方法】

MacOS XではMacOS標準のドライバを使用します。

※あらかじめMacOS9.xで初期化された物は、フォーマットせずに使用可能です。

MacOS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。

1.



「Disk Utility」を起動します。

※「Disk Utility」は、アプリケーション>Utilityの中にあります。

左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。本製品は、「xx GB (HDD/SSDの容量) XXXX (HDD/SSDの型番) Media」と表示されます。

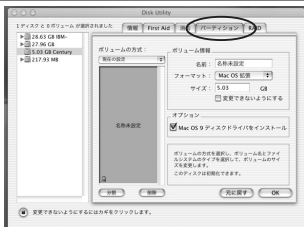
これをクリックして選択します。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。パーティション設定を変更できます。

ボリュームの方式

：作成するボリューム数を選択します。
8つまで分割して作成することが可能です。

ボリューム

：メディアの分割状況が表示されます。

ボリューム情報

：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

名前

：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

フォーマット

：作成するボリュームのフォーマットを選択します。MacOS標準、MacOS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。通常はMacOS標準がMacOS拡張を選択してください。

サイズ

：作成するボリュームのサイズを変更できます。

オプション

：MacOS9ディスクドライバをインストールチェックをすると、MacOS9で動作するドライバをインストールします。

分割

：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

削除

：選択されているボリュームを削除します。

元に戻す

：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。

警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

【東芝製液晶テレビREGZA（レグザ）での使用について】

本製品は東芝製液晶テレビ「REGZA(レグザ)」の録画用外付けHDD/SSDとして使用できます。

⚠ 注意

～ご使用の前に～

- ・本製品をREGZAで使用する場合、組み込まれたHDD/SSDはREGZAの録画専用として初期化されます。PC等のデータが入っているHDD/SSDを使用する場合は、必ずバックアップを行ってから使用してください。
- ・本製品はREGZA R9000シリーズでテストを行い、正常に録画・再生ができることを確認していますが、組み込んだHDD/SSDによっては正しく動作しない可能性があります。継続的なご使用の前に必ず録画、予約録画、再生、早送り再生等が問題なく動作することを確認してからのご使用を強くおすすめします。
- ・何らかの不具合が発生して録画ができなかった内容の補償、録画されたデータの損失およびこれらに関する直接、間接の損害につきましては、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■接続方式

USB接続

■対応機種

REGZA 9000シリーズ

※REGZA自体に録画機能がないモデルには対応しません。

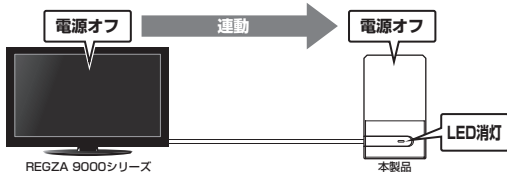
接続方法



※録画設定については、お手持ちのREGZAの取扱説明書をご確認ください。

電源オン/オフ時の本製品の動作について

- ・REGZAの電源オフと同時にHDD/SSDの電源もオフになります。
- ・REGZAの電源をオンにすると、HDD/SSDの動作が再開します。



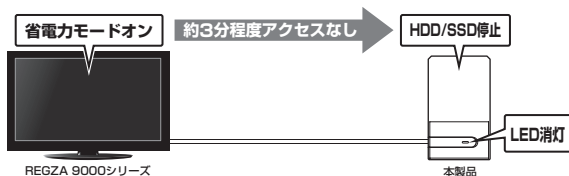
省電力モード時の本製品の動作について

- REGZAの省電力モードをオンで本製品を使用すると、一定時間（約3分程度）アクセスがない場合、ハードディスクの回転が停止します。

このとき本製品のLEDは点灯した状態になります。

- 録画やHDD/SSDの設定を開始すると、HDD/SSDの動作が再開します。

※HDD/SSDの動作が停止していても待機電力を消費しますので、長時間ご使用にならない場合は本製品を取り外すことをおすすめします。



〈録画時間の目安〉

画質モード/容量	160GB	320GB	500GB	640GB
地上デジタルHD (最大20Mbps)	約17時間	約34時間	約53時間	約68時間
BSデジタルHD (最大24Mbps)	約14時間	約28時間	約44時間	約56時間
SD画質 (最大8Mbps)	約42時間	約84時間	約131時間	約168時間

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われる場合は、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試ください。

■認識されない

以下をお試ください。

- ・本製品とPCが専用USB3.0ケーブルで正しく接続されているかを確認する。
- ・パワー/アクセスLEDが点灯しているかを確認する。
- ・PCによっては接続したままOSを起動すると認識しないものがあるため、USBコネクタを接続しなおしてみる。

■パワー/アクセスLEDが点灯しているのにHDDが回転している音がしない

配線が正しく接続されているかをご確認ください。

また、添付のUSBケーブル以外を接続されると故障や事故の原因となりますので、必ず添付のUSBケーブルをご使用ください。

■新しいHDD/SSDをセットしたが、マイコンピュータ内（Windows）、デスクトップ（Mac）にHDD/SSDのアイコンが表示されない

新しいHDD/SSDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。

【Windowsでの使用方法】または【Macでの使用方法】を参照して初期化の作業を行ってください。

- ・Windowsでお使いの場合→P.13【Windowsでの使用方法】をご確認ください。
- ・Macでお使いの場合→P.25【Macでの使用方法】をご確認ください。

■PCMCIAのUSBカード経由で動作しない

PCMCIAやExpressCardスロットのUSBカードをご使用の場合、電力が不足して正常に動作しない可能性があります。

USBカード自体に電力を増強する手段がある場合、そちらを使用しての動作をご確認ください。

■スリープ、スタンバイから復帰するとフリーズする、アクセスできない

本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイに対応しておりません。

スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

■すでにデータの入ったHDD/SSDを接続したが、マイコンピュータにHDD/SSDアイコンが表示されない

内蔵専用のダイナミックディスク形式や特殊なフォーマット形式だった場合、そのまま使用できない場合があります。

この場合は元の装置にHDD/SSDをもどし、データのバックアップ後、再度本製品に接続してHDD/SSDの初期化を行ってください。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十^{とよ}余^{ふたおき}二^{きはら}翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしくお願いたします。

～弊社商品につきましてはのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました但、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.